

平成27年度事務事業評価シート		該当事業(評価対象外事業は基本情報のみ記載)		
		一般事務	公共建設事業	評価対象外事業
事務事業名	地域振興事業			
予算科目	2 款 1 項 14 目			
総合計画での位置付け	参画と協働の郷(くに)づくり 住民自治の推進			
所管課情報	担当課:	総務企画課	電話番号(内線):	650
記入者情報	所属長:	坪内 圭也	担当責任者:	高橋 洋司
事業の性格	内部管理事務			
実施期間	【開始年度】平成 22 年度 【開始年度】設定なし			
事業の対象	伊予市魅力ある地域づくり事業補助金			
根拠法令等	伊予市魅力ある地域づくり事業補助金交付要綱			
事業の目的	市民の主体的・創造的な地域づくりの気運を醸成するとともに、地域の特性や資源を活かした個性豊かな魅力ある地域づくり活動を支援する。			
事業の内容	対象となる事業に補助金を交付する。1)地域の生活環境の改善、自然環境の保全その他の環境問題に取り組む活動2)特産品の研究開発及び地域の産業振興に伴うイベント等に取り組む活動3)地域の伝統、文化、郷土芸能等を継承し、振興を図るために取り組む活動 4)食育・食文化の調査、研究、推進等に取り組む活動など			
改善策の具体的な取り組み(当初)	補助対象事業の選定方法を確立すること。(補助制度を見直すことで、平成29年度以降、新制度による実施を検討した。)			
改善策の具体的な取り組み	事業報告の評価方法を確立すること。(補助制度を見直すことで、平成29年度以降、新制度による実施を検討した。)			

事業費及び財源内訳					
項目		26年度決算	27年度予算	9月末の執行状況	27年度決算
事業費	直接事業費	490	520	520	520
	人件費	80	80	80	80
	合計	0	600	600	600
人件費内訳	人工数	0.01	0.01	0.01	0.01
	人件費単価	7,954	8,042	8,042	8,042
	補助事業人件費	0	0	0	0
	人件費	79	80	80	80
財源内訳	国庫支出金	0	0	0	0
	県支出金	0	0	0	0
	地方債	0	0	0	0
	その他	0	0	0	0
	一般財源	570	600	600	600

事業活動の実績(活動指標)					
項目	単位	26年度実績	27年度予定	9月末の実績	27年度実績
補助対象事業数	件	2	2	2	2

向こう5年間の直接事業費の推移						
年度	28年度	29年度	30年度	31年度	32年度	5年間の実績
	500	500	500	500	50	2,050

成果指標				
成果指標	指標を設定しない。			
指標設定の考え方	補助対象により成果が異なるため、特定の指標を設定することができない。			
区分年度	26年度	27年度	28年度	
目標	0	0	0	0
実績	0	0	0	0

自己評価				
自己評価 (担当責任者)	妥当性	目的の妥当性	3	C
		市民ニーズへの対応	3	
		市の関与の妥当性	3	
	有効性	事業の効果	3	C
		成果向上の可能性	3	
		施策への貢献度	3	
	効率性	手段の最適性	3	C
		コスト効率	3	
		受益者負担の適正	3	
課題認識	一部の団体による利用に限定されている。補助対象の決定から実施後の評価まで、制度全てを見直す必要がある。			

一次評価				
一次評価 (所属長)	妥当性	目的の妥当性	3	C
		市民ニーズへの対応	3	
		市の関与の妥当性	3	
	有効性	事業の効果	3	C
		成果向上の可能性	3	
		施策への貢献度	3	
	効率性	手段の最適性	3	C
		コスト効率	3	
		受益者負担の適正	3	
課題認識	市民の主体的・創造的な地域づくりの気運を醸成するとともに、地域の特性や資源を活かした個性豊かな魅力ある地域づくり活動を支援するために、設けている補助金交付事業であるが、特定の団体に固定されている傾向があるので、もっと広く使いやすい補助制度にするための見直しが必要である。			

二次評価	
二次評価 (所属部長)	一次評価結果のとおり事業継続と判断するが、以下の課題を新たに追加する。
意見、課題	地方創生に向けて、新たな制度の設計を図りたい。

行政評価委員会の答申

外部評価
(行政評価委員会)

経営者会議の最終判断

事業の方向性

下記の点を見直しの上、継続する。

意見、課題

二次評価の内容を踏まえ見直すこと。